

演題名	足湯がポジティブ感情に与える影響について第2報		
施設名	いわき湯本病院	(ふりがな) 発表者(職種)	きたごう はるな 北郷 春奈 (看護師)
(ふりがな) チーム名	いい湯 ^ゆ だなチーム		
分類	③患者サービス・患者満足度の向上をめざすもの		
取り組み種別	施策実行型		
改善しようとした 問題課題	当院は入院生活中の患者のポジティブ感情を促進するために「足湯」に取り組んでおり前回一定の効果を確認することができたが、実施期間が短く十分な患者に対して「足湯」を提供できなかった。		
改善の指標と その目標値	(指 標) 足湯提供患者数 (目標値) 60名以上		
実施した対策	湯本温泉を利用し足湯を実施する。16～17時に15分程度実施し1回の人数は4名程度とする。 湯温は40～42℃とし好みに合わせて調整する。 対象は安全に座位が取れ、主治医の許可がある患者とした。 浴室に観葉植物を設置し、音楽も流してリラックスできる空間とする。 初回利用者に対して実施前と実施15分後にポジティブ感情尺度(MCL-S2)を実施し結果を比較する。		
改善指標の 対策実施 前後の変化	(実施前) 対象27名 快感情4.0→5.2※ リラックス感4.1→5.1※ 不安感3.6→3.0 (実施後) 対象78名 快感情4.3→5.7※※ リラックス感4.8→5.8※※ 不安感3.0→2.4※※ ※p<0.05 ※※p<0.01		
歯止めと 標準化	効率的な足湯の実施のために半年ごとに業務基準の見直しを行う。 足湯が効果的に実施できているかを確認するために毎月の生活活性化委員会で足湯の実施状況を確認する。		
活動の種類 ※複数選択可	⑤その他	チーム メンバー (職種)	1 小針 正人 医師
活動の場 ※複数選択可	①診療部門 ②支援部門 ③管理部門		2 大淵 靖代 看護師
活動期間	2023年12月 ～ 2024年5月		3 北郷 春奈 看護師
リーダー名 (職種)	北郷 春奈 (看護師)		4 服部 由紀子 看護師
活動回数	8 回		5 田山 有加 看護師
			6 四家 里枝 ケアワーカー
			7 山本 日出男 ケアワーカー
			8 矢内 遥 理学療法士
			9 高橋 和幸 放射線技師
			10 貝野さおり 事務職

【現状把握】

テーマの選定

足湯がポジティブ感情に与える影響について

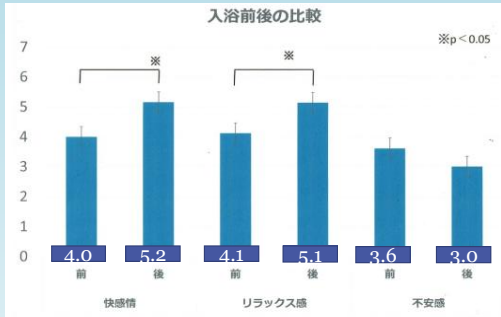
医療法人常磐会 いわき基本病院
 リーク名：しい湯だなチーム
 メンバー：大浦晴世 (Ns)、結木樹子 (Ns)、西家聖枝 (Cw)
 渡邊菜月 (Ot)、安部和樹 (Pt)、正田修江 (Ns)
 藤井智美 (Ns)、池川彩 (Ns)、高橋和幸 (放射線技師)
 小野正人 (Dr)

第18回TQM活動発表セミナーにて発表

当院では入院患者さんの「快感情」「リラックス感」を促進するために温泉を利用した「足湯」を実施している。
 前回の発表から継続しより良い足湯の提供に努めていく。

【用語の定義】
 ポジティブ感情：快感情、リラックス感が増えていること。
 快感情：生き生きしている。爽快な気分である。はつらつしている。まったりしている。
 リラックス感：リラックスしている。ゆったりしている。落ち着いている。穏やかな気分である。
 不安感：不安である。思い煩っている。

現状の把握と対策の狙い所



ポジティブ感情尺度MCL-S2を使用し27例より調査

対象患者に足湯を行い、足湯の前後でMCL-S2を実施し比較した。

「快感情」「リラックス感」の2項目で優位な向上がみられた。

対象数が27名と少なかった。

MCL-S2開発者である橋本公雄氏より足湯後のアンケートは実施直後でなく15分後に行った方がよいとアドバイスを受けた。

ポジティブ感情尺度MCL-S2

「足湯」に入る前のアンケートです。

※質問の回答は、地下1000mの湧き出ている温泉湯温の調査100%を利用しております。
 ※今後の医療の質向上に向けてアンケートの協力をお願いいたします。

	Q1 11	Q2 11	Q3 11	Q4 11	Q5 11	Q6 11	Q7 11
1 快活感が高い	1	2	3	4	5	6	7
2 元気が多い	1	2	3	4	5	6	7
3 予定である	1	2	3	4	5	6	7
4 精神が安定である	1	2	3	4	5	6	7
5 安心感が高い	1	2	3	4	5	6	7
6 落ち着きがある	1	2	3	4	5	6	7
7 気分がよい	1	2	3	4	5	6	7
8 楽々している	1	2	3	4	5	6	7
9 心が軽くなる	1	2	3	4	5	6	7
10 平気である	1	2	3	4	5	6	7
11 精神的に安定である	1	2	3	4	5	6	7
12 心配である	1	2	3	4	5	6	7

MCL-S2は、橋本と村上によって作成された²⁾ ポジティブ感情尺度

快感情（4項目）、リラックス感（4項目）、不安感（4項目）から構成される。

【目標設定】

目標の設定

何を	足湯初回提供患者数
いつまでに	2024年5月までに
どうする	60名以上とする

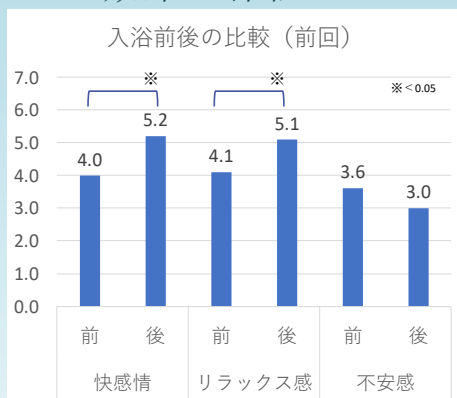
【対策の立案と実施】

対策の決定と実施

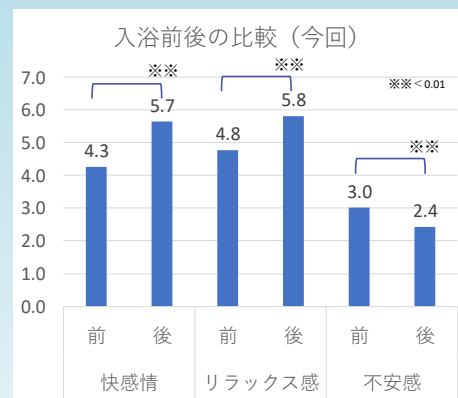
- ・対象者 : 安全に座位が取得医師の許可がある患者
- ・足湯時間 : 16時～17時 (15分位)
- ・1回の利用人数は4名程度
- ・足湯の温度を40～42℃に設定し好みに合わせて調整
- ・浴室に観葉植物を配置しリラックスできる空間を演出する。
- ・足湯実施時に雰囲気合わせた音楽を流し楽しんでいただく。
- ・初回足湯実施者に対し、実施前と実施15分後にアンケートを実施する。
- ・コミュニケーションを大切に、患者さん同士で会話ができるように配慮した。

【効果の確認】

効果の確認



N=27



N=78

効果の確認

・患者の声

足湯の後はよく眠れた

気持ちよかった

温泉気分が味わえた

皆とお話できて楽しかった

・スタッフの声

リラックスして会話が弾んでいた

普段話さないことを聞かせてもらうことができた

患者さん同士で楽しそうに会話していた

喜んでもらえて嬉しかった

【標準化と管理の定着】

標準化と管理の定着

	実施項目	誰が	いつ	どこで	なぜ	どのように
標準化	実施内容の改善	生活活性化メンバー	半年毎	生活活性化委員会で	効率的な足湯の実施をするために	業務基準の見直しを行う
管理	実施状況の確認	生活活性化メンバー	半年毎	生活活性化委員会で	足湯が効果的に実施されているか確認するため	実施状況の確認を行う